

平成26年度主催行事議事録

一般社団法人熊本県損害保険代理業協会

作成日：2015.2.5

作成者：田嶋

会議等の名称	第10回 支部長・委員長会
開催日時	2015.2.4 13:00~15:00
開催場所	熊本市流通情報会館6階会議室
参加者	各支部長・委員長・執行部・事務局（24名）
欠席者	坂本宇城支部長

議事内容	担当	概要・意見等
開会の辞	中村副会長	
会長挨拶	井上会長	いよいよこれから年度末に向けて総仕上げの時期である。代協活動は見返りを求めない「自分への投資」と考えている。先月の賀詞交歓会は69名が参加して盛会となった。これから損保各社との関係を更に太くしていくが、その一環として各社窓口を整理した。不公平募集に関しては日本代協とも連携して、我々のフィールドで正しい募集が行われるよう提言していく。本日は14:30頃にアイエス熊本の役員が来場して今後の事業推進について説明される予定となっている。
報告事項	各委員会	レジュメ添付の「第10回委員長会報告」の内容に沿って報告されたが、以下を追記する。
	企画環境委員会	火災保険アンケートの結果の問題案件を一覧表にした。4件中3件の扱い代理店肥後商事は県代協にも加盟しているが（中央支部）、案件を精査した上で代申社の損保ジャパン日本興亜と今後の対応を協議したい。（井上会長） ホンダ系ディーラーの自動車保険パンフに「スモールリペアが保険の特約」と誤認される問題について、日本代協にも問題を提起した。 （事務局追記）・・・類似の案件はダイハツ・スバルといったメーカーにまで広がりを見せている事が参加者から報告された。現在ではすべてのメーカー系列で扱われている

	<p>ると推測。保険会社と自動車ディーラーが「約定履行保証保険」を締結し、その被保険者として「①新車登録後 2 年以内②自社の自動車保険に加入」等を条件としている。この為新車販売時（車両入替時）に保険の自社加入を勧める圧力が増していると思われる。ただしその保険料はディーラーが負担している為受益者には負担が発生しない。</p>
教育委員会	<p>損保協会 HP の「トータルプランナーのいる店」への県代協登録者は現在 41 代理店。コンサルコース受講者は目標の 15 名に対して 12 名が確実となっており、残りを早急に詰める。</p>
組織委員会	<p>2 月 24 日のエース損保社のセミナーは DM での案内が届いてない会員のあるようなので、本日参加希望があれば申し込みとして受け付けを行う。（中村委員長）</p> <p>2 月に 2 名の新入会員を受け付けた。また従来通り KKT の紹介者にはクオカードを謝礼として贈呈する。</p>
CSR 委員会	<p>交通遺児募金・347 千円を本日熊本県くらしの安全推進課に届けた。（郡委員長・井上会長・澤村専務理事・田河事務局長出席）蒲島知事名で感謝状をいただいた。</p> <p>今後県代協としても CSR 活動について積極的に日本代協に報告するので、各支部からも情報を発信してほしい。</p>
事業委員会	<p>第 10 回委員長会の議事録修正 今年度事業収益の不足見込額 32 万円⇒34 万円 DRP 今年度実績 62 台⇒65 台</p> <p>DRP 実績分析の結果、玉名・人吉地区には提携工場がないのでやむを得ないが、あいおい社代申会員の実績がゼロだったので原因を調べたい。</p>
広報委員会	<p>新年賀詞交歓会の記事がくまもと経済 2 月号に掲載済み。県代協 HP は 1 月末に更新された。</p> <p>日本代協広報委員会の報告書を伊藤副会長が配布。</p>
青年部	<p>今年度内に青年部としての勉強会を開催したい。（高井青年部長）</p> <p>支部ごとの青年部名簿作りをお願いしたい。（井上会長）</p>
ブロック	<p>会員増強では鹿児島・沖縄、コンサルコース増強では宮崎が目標をすでに達成している。（尾場瀬ブロック長）</p>

その他 県代協の会議が日本代協の理事会に雰囲気似てきた。資料も充実（村上顧問）
支部報告はレジュメ添付の月例会報告に沿って各支部長から発表がなされた。